

なれなかった私は歯学部を目指し予備校の夏期講習に通うため夏休みに入っ
てすぐの剣道部引退を認めていただいた。
東京の下宿で見せてもらったテレビ
には懐かしい面々が映し出されてい
て今まさに決勝戦がはじまろうとして
いる。食い入るように見つめていたが
勝負は意外に早く決した。主将時田君
が副将戦で決め、終わってみれば勝者
数4-1・本数9-5という圧倒的な
勝利であった。しかし後日拝見した岩
谷先生の大会報告によると「…初戦よ
り調子が出ず、苦しい試合の連続で
あった。…対佐賀北高との戦い、あま
りの苦しさに禅寺へでも逃げ出した
ような衝動にかられつつも、選手を信
じともに励ましあった。…これを勝ち
抜いてから、まるで「空」「無一物」
という状態で心に一点の曇りもない心
境にて勝ち進み、三十二年振りに優勝
旗を手にする選手を見て…こみあげて
くる涙を抑えつつ帰秋の途についた
…」とある。その対佐賀北戦は秋田県
剣道史によると、同勝者数・同取得本
数で代表戦にもつれ込み前沢君が見事
片手半面を決めて準決勝を勝ち抜けた
試合であった。全国制覇を成し遂げる
ということは並大抵のことではないと
感動させられた。

さらに同年の国体優勝に続き二年生
が翌年のインターハイを連覇して前人
未到の国体を挟んでの三連覇が達成さ
れた。これを記念した石碑が校庭に建



昭和42年インターハイ優勝の剣道部員。前列中央に岩谷文雄先生と渡辺忠先生。後列左端が筆者

72歳の今も竹刀持つ

てられており私も末席に加えていた
き光栄に思います。

大学に入り剣道部の勧誘に不完全燃
焼だった血が騒ぎ入部したが、道場は
なく師範もおられず富坂上の警視庁武
道館を借用しての稽古であった。同好
会みたいな感じで和気あいあい楽し
かったが半面物足りないところもあ
り、たまに警視庁助教の先生がお見え
になって稽古をいただける時はうれし
かった。一年から試合に出してもらっ
たが大した戦績はあげられずメンタル
の弱さは相変わらずだった。

大学卒業後横浜で3年勤務、昭和52
年大館に帰り歯科医院を開業した。岩
谷先生に報告すると「あの頃の苦し
かった稽古を思えば何だかって乗り越え
られる、頑張れ」と励ましていただい
た。当時は「虫歯の洪水」といわれた
時代で診切れないほどの患者さんが来
られ、診療・食う・寝るの生活が続い
た。そんな時歯科医師会事務局より「東
北6県の歯科医師剣道大会があるので
出てみませんか？」というわけで参加
したら、試合の前日に大懇親会があり
親睦主体ながら試合も頑張るとい
大会であった。しばらくはろくに稽古も
せずにこの大会に出ることだけが私の
剣道であったが、次第に勝てなくなり
これではイカンとやっとならぬ
うになった。社会人になると稽古する
も休むも、どこまで自分を追い込むか
など自由だが全て自己責任でもある。
「継続は力なり」という言葉のとおり、
今頃になって止めずに続けてよかった
と思っている。三年前から大館市剣道
協会の会長を務めさせていただいて
いるがコロナ禍で大会の開催・幼少年対
策・会員の親睦など思うようにできな
い状態が続き残念である。診療も患者
さんをはじめたくさんの方々のおかげ
で何とか続けることができており「感
謝」の一語に尽きる。最後になります
が秋高ならびに剣道部のますますのご
発展・ご活躍をお祈り申し上げます。



代表取締役
池田 匠 (昭和52年卒)

株式会社
渡辺佐文建築設計事務所
秋田市山王沼田町6-8 TEL 018-863-8431

三浦法律事務所

秋田市山王六丁目13番15号



日本泌尿器科学会認定 小浜 丈夫
泌尿器科専門医 (昭和52年卒)

診療時間
●月～金 8:30～12:30 / 14:00～17:00
●土 8:30～12:30 ●休診日 日祝日

横手市杉沢字中杉沢519-1
☎0182-35-2666



たわらや ひろのぶ
院長 俵谷 博信 (昭和52年卒)

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30～12:30	○	○	○	○	○	○
14:30～18:00	○	○	○	○	○	○
	休	休	休	休	休	休

休診日…日曜・祝日

TEL 018-895-7733 P 16台
秋田市八橋本町5丁目8-31